



家庭通信 1月号

2025年1月8日
学校法人 織田学園
おだ認定こども園

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

2025年の年明けは天候にも恵まれて穏やかな幕開けとなりました。お正月は、ご家族、ご親戚の方々が集まり、去年の姿と比べて「大きくなったね、おしゃべりが上手になったね」など、子どもの一年の成長が話題になった方も多かったのではないのでしょうか。休み明けは、子どもたちも久しぶりの登園に戸惑う園児もいるかもしれません。ゆっくりペースで日常の園生活を取り戻せるように園でも配慮していきます。また、インフルエンザなど感染症がまん延しやすい時期でもありますので、基本的な感染予防対策をし、お子さんの体調の変化に気を付けていきましょう。医療機関も混みあってなかなか予約が取りにくい状況も予想できますので、早めの対応ができるように園でもご家庭との連携を強化していきたいと考えていますので、どうぞご協力をお願いいたします。

さて、3学期は、1年間共に育ってきた保育者や子ども同士のつながりを軸に、更に本領発揮できるように保育計画を立てています。そして4月からの「進級」「小学校就学」など施設が変わったりクラスの仲間が入れ替わったりする「切れ目」の時期に備える移行期でもあります。この「切れ目」は保護者の方も子どもたちも変化に対する不安が生じやすくなりますので、その不安が軽減できるように次のような対応を実施していきます。

①新しい生活の場に見通しが立てられるように、進級したときに使う部屋で遊ぶ。

年長組は西落合小学校と連携し小学生体験をする。

近隣の学童に出向き学童保育体験（次年度学童に入る子ども対象）を計画。

②クラスの枠組みを超えて他クラスの子どもや保育者との交流。

③保護者の方との連携として、幼児クラスは個人面談を実施します。

012歳児クラスの方もご希望がある場合は副園長・主幹に面談をお申し入れください。

基本的には、こうした物的な環境の配慮だけではなく、子どもたちが、変化を経験しながらその新しい環境に順化できるように「大丈夫」「きっとなんとかなる」の柔軟な心の育ちが重要になってきます。そのため日常の保育では心育でも大事にしています。変化の「切れ目」の体験をばねにできるように、3学期も子どもたちや保護者の方の伴走者として関わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

1月のねらい

<年長組>

- 様々な遊びに興味を持ち挑戦したり工夫したりして、楽しむ。
- 友達と一緒に一つのことに向かって意欲的に取り組み、満足感を味わう。
- 自分の力を発揮しながら遊びや生活を進めていく。

<年中組>

- 様々な遊びに興味を持ち進んで取り組む中で自分たちなりに進める楽しさや面白さを感じる。
- 友達と思いや考えを伝え合いながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 冬の自然事象に興味を持ち、触れたり、遊びに取り入れたりする。

<年少組>

- 園生活に見通しを持ち、自分の身の回りの事を行なおうとする。
- 戸外で簡単なルールのある遊びや全身を動かしてあそぶ事を楽しむ。
- 色々な友だちと関わり、好きな遊びを楽しむ。
- 保育者と一緒に冬の自然を見つけたり興味を持ったりする。

<2歳児>

- 周りの子と一緒に好きな遊びをする楽しさを感じる。
- 物の扱い方を知り、大切にしようとする気持ちが芽ばえる。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。